

令和2年度郡市医師会 特定健診・特定保健指導担当理事及び関係者合同会議

と き 令和2年10月1日(木) 15:00～15:55

ところ ホテルニュータナカ2階「平安の間」

[報告:理事 伊藤 真一]

会長挨拶

河村会長 山口県の特定健診及びがん検診の受診率は全国でワースト1～3位に入っている。さらに今年はコロナ禍で特定健診においても受診控えが起きており、皆様のお知恵を拝借しながら受診率の向上に努めていきたい。

協議事項

1. 令和元年度の実施結果について

2. 令和2年度の実施状況について(一括協議)

国保連合会 令和元年度の県内国保保険者の受診率は30.1%で平成30年度の28.0%より上昇した。伸びた要因としては、受診者の自己負担が無料化されたこと、AI(人工知能)を活用した勸奨ハガキの送付が影響している。コロナの影響で開始が遅れたが、9月はやや回復傾向にある。

支払基金 令和元年度の特定健診は3,806医療機関から17,786件の請求があり、平成30年度と比較すると機関数は101.9%、請求件数は102.4%と若干増加した。令和2年度は7月までには480機関から1,190件の請求があり、令和元年度に比べて52.7%減少している。これは新型コロナウイルスの影響が考えられる。

全国健康保険協会山口支部 令和元年度の実施率は被保険者が63.0%で3.3%増加し、被扶養者の実施率は24.4%と0.9%の増加であった。受診者増加の要因は受診勸奨業務の好調、県内各地での集団健診の実施によるものである。

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年3月に予定していた集団健診を中止した。緊急事態宣言期間中の4～5月の実績は、昨年と比べ4～

5割減となっている。7月は被保険者の受診率は前年比の8割弱まで回復したが、被扶養者は横ばいの状況である。市町のがん検診と同時実施による集団健診の実施を中止する市町もあり、会場数が減少している。

広域連合 令和元年度の健康診査受診率は30.4%で、前年比5.8%の減少である。平成30年度から生活習慣病で通院し、過去2年間健康診査を受診していない方を除外対象者としており、平成30年度は約147,000名を除外していたが令和元年度は約106,500名だったことから、受診者数は増加しているが受診率が減少した。

令和2年度は緊急事態宣言の発令を受け、例年4月末に受診券を発行していたが6月初旬に遅らせ、感染症拡大への注意喚起文書を同封した。

市町国保 令和2年度に市町国保が取り組んでいる特徴をまとめた。令和元年度に受診者の自己負担を無料化したところは効果があり、令和2年度から全市町国保の受診者の自己負担が無料化された。

AI(人工知能)を活用し、対象者に応じた受診勸奨ハガキを送付することで、受診率向上につながっている。

集団健診の受診率が高い市町は、新型コロナウイルス感染症の影響で集団健診を中止したことによる受診率への影響が大きい。

3. 令和3年度の実施に向けて

(受診率の向上について)

市町国保の特定健診受診率は平成27年度から全国最下位になっており、27年度が25.4%、28

出席者

郡市医師会担当理事

大島郡 野村 壽和	山口市 郭 泰植	山陽小野田 大塚 祥司
熊毛郡 曾田 貴子	萩市 兼田健一郎	光市 井上 祐介
吉南 弘中 克己	徳山 椎木 俊明	柳井 松井 則親
美祢郡 吉崎 美樹	防府 岡澤 正	長門市 吉村 晃
下関市 吉水 一郎	下松 小林 究	美祢市 藤村 寛
宇部市 内田 悦慈	岩国市 松浦 晃	

山口県国民健康保険団体連合会

保健事業課課長 重富 知巳
保健事業課健康増進班主任 土井 佳子

全国健康保険協会山口支部

グループ長 新里 秀輝

社会保険診療報酬支払基金山口支部

管理課副長 永井 慎一
管理課班長 吉田 豊

山口県後期高齢者医療広域連合

業務課保健事業推進係主任 岡本雄一郎

山口県健康福祉部

医務保険課主幹 小林 弘枝
医務保険課主査 山田 和弘

山口県医師会

会 長 河村 康明
副 会 長 加藤 智栄
常任理事 中村 洋
理 事 伊藤 真一
理 事 上野 雄史
理 事 茶川 治樹

市町

下関市保険年金課主査	福本 晃久	柳井市市民生活課主査	吉國 高史
宇部市保険年金課係長	道田美喜子	美祢市市民課係長	山村 和子
山口市保険年金課主任主事	福永 美香	周南市保険年金課医療費適正化担当主査	倉重 始子
萩市市民課保険年金係主任	後藤 泰裕	山陽小野田市国保年金課主査	石井 尚子
防府市保険年金課係長	三宅 研司	周防大島町健康増進課主事	宮本 恭兵
下松市保険年金課主査	岡崎 陽子	和木町保健福祉課主事	岡 修平
岩国市健康推進課健診班長	藤本 朗子	上関町保健福祉課課長補佐	大西 勇
光市市民課国民健康保険係主任	森本 怜佳	田布施町健康保険課保険年金係長	岩本 聖
長門市総合窓口課医療給付係長	武林 裕介	平生町健康保険課主任主事	藤田 智典

年度が26.0%、29年度が26.7%、30年度が28.0%と年々増加傾向にあるが、最下位脱出には至っていない。このような状況の中、各市町では引き続き、自己負担の無料化、AIを活用した受診勧奨に取り組み続ける。

4. その他

・次年度の標準単価について

令和3年度の標準単価案：診療報酬は「血液採取（静脈）」が30点から35点に変更されたことを踏まえて、単価を作成している。

・個人単位被保険者番号の枝番の令和3年度からの電子請求の対応について

県医務保険課 オンライン資格確認の導入に伴い、被保険者記号・番号が変更されたことで、被保険者番号に個人を識別するための2桁の番号（枝番）が設定されることになった。

令和3年4月1日以降の新規被保険者に発行する被保険者証には、枝番が印字される。県内の市町国保は、すべての被保険者証に枝番がつくのが令和3年8月前後の更新時期になる予定である。

令和2年度の実施分については、国の通知により枝番を把握できる範囲で確認・入力を行う。令和3年度以降の取扱いを県から厚労省に照会したところ、未定・検討中とのことである。

・令和3年度以降の後期高齢者の質問票の対応について

広域連合 令和2年度から後期高齢者の質問票が変更になっており、医療機関でシステム改修が間に合わずにデータ化できない場合、令和2年度は健診データとは別に広域連合に紙媒体で質問票を提出する。

国からの通知で令和2年度中にシステム改修を行い、令和3年度からはすべての医療機関で質問票の内容を含めてデータ化する。

・眼底検査について

郡市から眼底検査の実施についての質問があり、下関市国保で眼科と個別契約で実施されていることが説明された。

多くの先生方にご加入頂いております！

お申し込みは
随時
受付中です

医師賠償責任保険

所得補償保険

団体長期障害所得補償保険

傷害保険

詳しい内容は、下記お問合せ先にご照会ください

取扱代理店 **山福株式会社**
TEL 083-922-2551
引受保険会社 **損害保険ジャパン**
日本興亜株式会社
山口支店法人支社
TEL 083-924-3005



損保ジャパン日本興亜